バラエティ豊かなラインナップ
チョコエッグ
本物のおいしさ
セコイヤチョコレート
フルタ製菓株式会社
〒544-0023　大阪市生野区林寺6-7-22

菓子・食品・パン関連資材専門紙　流通記者会加盟紙

菓業食品新聞

The Journal of confectionery

URL：http://okashi.info　e-mail：ks-news@okashi.info

令和3年　12月12日（日曜日）
（毎月12、22日発行）第2265号
昭和41年7月2日第3種郵便物認可

発行所　〒564-0053 大阪府吹田市江の木町11-38-618
TEL 06(6385)1717 FAX06(6385)0150
株式会社菓業食品新聞社
支社・京都
発行人　狩野　智子　　一カ年　8,400円

森永製菓

森永エンゼルミュージアム「モリウム」 創業122年、歴代菓子を展示

横浜鶴見に1月オープン

工場見学通路リニューアル

森永製菓㈱（太田栄二郎社長）は、鶴見工場（神奈川県横浜市）敷地内に「森永エンゼルミュージアムMORIUM（モリウム）」を2022年1月12日（水）にオープンする。12月3日（金）に現地とオンライン両方で記者発表会を開催した。

はじめに太田社長が「2年前の2019年、当社は創業120周年を迎えた。その感謝をこめて、2020年の春にオープンの予定が、新型コロナの影響で1年半の延期となった。創業者の森永太一郎が1800年代後半に陶器を売りにアメリカに渡ったが、西洋菓子と出会い11年間学ぶこととなった。帰国後、1899年に森永西洋菓子研究所を設立したのが当社の始まりとなった。品質第一、お客様に誠実、従業員を大切に、この3つをモットーに大規模な機械設備、菓子の開発に次々と挑戦し菓子事業の礎を作り上げてきた。ちょうど120周年の節目に私は9代目社長に就任した。時代とともに歩んできた当社の未来に向けての存在意義に関し、社内で意見を募集し、今年5月に改めて企業理念を策定した。2030年ビジョンに向けた経営計画に取り組み、心の健康、体の健康、環境の健康、お客様との新たなコミュニケーションの場を設け、さらなる信頼関係の強化を図りたい」と挨拶した。

挨拶する太田社長

ミュージアム外観

続いて同ミュージアム館長の中島庸子氏が施設概要について述べた。

施設全域のカラーを白でまとめたのは、お客様とともに色づけしていきたいという思いが込められている。施設の名称には、MORINAGA+ARIUM（ラテン語で、～の場所）、同社の主力商品マリー、ムーンライト、チョイス、チョコモナカ、ハイチュウほか、美味しさの秘密を、動画や模型などで紹介する。シアターには12㍍幅の大画面を設置、創業者森永太一郎氏が打ち込んできたことの歴史を背景に各商品の魅力を放映、ヒストリーコーナーでは歴代商品パッケージや広告宣伝物などを展示している。また、ミュージアムショップでは、同館限定のオリジナルグッズをはじめ様々なグッズを販売している。限定オリジナルグッズはダースポーチ（770円）、ハイチュウミニハンドタオル（495円）、チョイスミラー（935円）ほか。2階は約900㎡でワークルームとホワイエ（団らんの場）を設けた。

テープカット

鶴見工場では、1926年より長らく工場見学ツアーを実施してきた。昨今、同ツアーには大人から子どもまで年間約5万人が訪れていた。ツアー定員に関し、新型コロナ感染予防で従来より大幅に減らし各回30人とし1月は1日2回、2月から3回を予定、12月13日から予約を開始する。参加費は無料、見学対象は小学生以上で所要時間は約70分。コロナが収まった後は試食などを含め魅力あふれる企画を行っていく。

同ミュージアムへのアクセスはJR鶴見駅からバス10分または徒歩17分。土日祝日及び工場休業日は休館。

美味しさの秘密を紹介

限定グッズも販売

ミュージアム1階フロアは1000㎡で、キョロちゃんの出迎えの後、同社の主力商品マリー、ムーンライト、チョイス、チョコモナカ、ハイチュウほか、美味しさの秘密を、動画や模型などで紹介する。シアターには12㍍幅の大画面を設置、創業者森永太一郎氏が打ち込んできたことの歴史を背景に各商品の魅力を放映、ヒストリーコーナーでは歴代商品パッケージや広告宣伝物などを展示している。また、ミュージアムショップでは、同館限定のオリジナルグッズをはじめ様々なグッズを販売している。限定オリジナルグッズはダースポーチ（770円）、ハイチュウミニハンドタオル（495円）、チョイスミラー（935円）ほか。2階は約900㎡でワークルームとホワイエ（団らんの場）を設けた。

ダースポーチ

2面 大菓青年クラブ、総会懇親会
4面 よもぎの菓子で「いい夫婦の日」
7面 和晃 本社新工場竣工